



飼料用米情報共有を

「トキワ養鶏協」が設立

藤崎町の常盤村養鶏農業協同組合(トキワ養鶏)と飼料用米の取引をしている組合や生産者が情報を共有するための「トキワ養鶏飼料用米協議会」設立総会が25日、つがる市の柏ふるさと交流センターで開かれた。

トキワ養鶏飼料用米協議会の設立総会

トキワ養鶏と契約する団体、個人が一つになつて今後の課題などを解決しようと組織。五所川原市の五所川原広域水田フル活用推進協議会やつがる市のつがる需要米生産協議会のほか、個人契約者ら98人が会員となつて参加した。

総会では、協議会会長の古川治トキワ養鶏

代表理事専務が「農業政策が大きく変わろうとしている今、皆さんで一つひとつ課題をクリアしていきたい」とあいさつ。副会長には五所川原広域水田フル活用推進協議会の渡邊洋一会長が就任した。今年度の事業計画などを確認後、担当者から、収量に応じて助成金の変動する飼料用米の収量の確認方法などが説明された。

(松田基継)